資　料　提　供	
令和８年１１月２日	
担当課 （担当者）	地域社会振興部美術館　学芸課 教育普及担当（佐藤・山本・外村）
電　話	鳥取県立美術館 0858-24-5441

大学生が小学生の作品鑑賞をナビゲート！

～　鳥取短期大学×小学生×鳥取県立美術館　～

子どもたちに「アートを通じた学び」をー。県内すべての小学校・義務教育学校・特別支援学校小学部の４年生を毎年美術館へバスでご招待する「MUSEUM START BUS」。学芸課のスタッフや聴く力を身につけた鳥取県立美術館のボランティア、ティーモアさんが案内役となり、対話をしながら鑑賞活動を行います。子どもたちが本物の作品と出合い、自分の目でしっかりと見て、発見したことや感じたことを素直に言葉にすることで、アートを通じたコミュニケーションが生まれ、豊かな学びにつながります。

11 月 6 日（金）は、現在開催中の企画展（10/10(土)～12/13(日)）**「ポエジイとレアリスム　生誕 130 年　前田寛治」展**に来館した小学生に対して、鳥取短期大学の学生 37 名が作品鑑賞のファシリテーションに挑戦します。

ついては、本事業についてぜひ取材いただきますようお願いします。

日時：令和 8 年 11 月 6 日（金）午前 10 時から午前 11 時 35 分
場所：鳥取県立美術館　スタジオ及び展示室（倉吉市駄経寺町 2-3-12）





学生がナビゲートしている様子（令和 7 年度）

※鳥取短期大学との連携は 6 回シリーズで計画しており、今回はその 6 回目となります。
①１回目：レクチャー：「美術館の役割とファシリテーションの魅力」
　　館長やファシリテーターとして活躍中のボランティアさんに話を聞く。
②２回目：レクチャー：「文脈を意識して作品を鑑賞すると」
　　作品を鑑賞する時に、何か起こっているのかを考える。
③３回目：レクチャー・演習：「対話鑑賞の体験とファシリテーションの理論」
　　ファシリテーションの理論を実際の体験を通して学ぶ。
④４回目：レクチャー：「あ、みつけた！を引き出す魔法～子どもたちの感性に寄り添うファシリテーション」傾聴について学ぶ。
⑤５回目：演習：「展示室でファシリテーションについてイメージしよう」
　　小学生の来館に向けて、当日のファシリテーションのイメージをつくる。
⑥６回目：来館した小学生に対して、学生がファシリテーションに挑戦！（11 月 6 日）

※本事業「MUSEUM START BUS」は、前期（4 月～9 月）と後期（10 月～3 月）の 2 期に分けて来館校を募集。今年度は、合わせて 117 校、約 4500 名の児童が来館します。

［取材のお願い］
学校に撮影等の許可を得る必要があるため、来館日の 2 日前までに必ずご連絡をお願いします。